令和３年度　学校評価シート（自己評価）

大和田しらかば幼稚園

１　園の教育目標

子供たちは初めて経験する集団生活において様々な体験をとして、自我が著しく発達する。子供の抱く好奇心や探求心を膨らませ、達成感や成就感を味わわせ、心身の健やかな成長を目指す。本園では、めざす子供像を次の４項目として日々の保育活動に励む。

１、明るくのびのびした子ども

２、元気でねばり強い子ども

３、こころ豊かなやさしい子ども

４、よく考える子ども

２　具体的な目標や計画

１　豊かなこころの育成

環境の充実を通して、子供たちの言葉に対する興味関心を育て、正しい言葉遣いを身に付けさせるとともに、相手の気持ちや考えた言葉遣いができるようにする。

・優しい言葉遣いなどを教職員が手本を示すなど豊かな言語環境を創造していく。

・園児の発達段階を考慮して卒園までに、ひらがなの読み書きができるようにする。

・季節に応じた制作活動を通して、表現力を身に付けられるようにする。併せて、内容や意図を言葉で表現するような場を設定していく。

２　安心・安全な幼稚園生活

日常の安全点検や水防計画や防災計画を作成し、体制や防災教育の充実を図り、安心安全な幼稚園生活が送れるようにする。

・年度当初における保健安全計画の立案、実施し、年度末に直しと改善を図る。

・防災計画や水防計画、不審者対応など危機管理に係る計画案等を作成するとともに、その周知徹底を図る。

・日直や担任による毎日の安全点検を実施するとともに、園長による毎月の安全点検を実施する。また、必要に応じて臨時点検を実施する。

・遊具の安全については、日々の点検を中心に行い、砂場の安全対策として使わないときはシートで覆うようにする。

・幼稚園便りや学年・学級便り、保健便りを通しての健康や安全に係る情報を発信するとともに、保護者への啓発を図る。

・避難訓練の実施や交通安全教室の実施など安全教育を推進し、園児自身の安全意識の高揚を図る。

・「学校の新しい生活様式」（文科省）を参考にし、新型コロナウイルス感染症対策を行う。

３　保護者との連携強化

保護者が相談しやすい雰囲気づくりにつとめ、保護者の相談に気軽に応じるなど、保護者との連携を深める。

・個人面談の実施や懇談会などの機会を通して、情報交換に努め、保護者からの信頼を得られるよう努める。
・連絡帳や電話等の連絡をこまめに取り、情報の収集とともに幼児理解を深める。
・保護者の相談には気軽に応じるようにする。

４　健康の増進を図る。

園の施設・設備を活用し、園児が自ら運動に親しみ、体力の向上が図れるようにする。また、規則正しい生活習慣を身に付けられるようにするとともに、健康の増進を図る。

・外遊びを奨励し、暑さ寒さに負けない元気な子供に育てる。
・体操や水泳を通して運動の楽しさを味わわせ、運動好きな子供を育てる。
・規則正しい生活習慣が身に付けられるように保護者と連携を図る。
・給食指導や食育を推進していく。
・新型コロナウイルス感染症予防の習慣を図る。

５　指導方法の工夫改善

園児一人ひとりへの理解を深め、個に応じた指導の充実を図る。また、生活環境や集団生活を工夫しながら主体的に活動しようとする園児の育成を目指す。

・一人ひとりのペースにあわせた課題や支援・援助をすることで、一つでも多くのことができるようにする。
・発達段階や遊び、生活体験をふまえて先を見据えた支援・援助を行い園児の学びを深める。
・集団生活を工夫し、相手を思いやる気持ちや力を合わせて物事に取り組む楽しさを味わわせ、協調性や協力的な態度を育成する。
・自然を生かした保育を取り入れ、生き物を大切にする心を育成するとともに季節の変化を十分に味わえる環境を創造する。

３　評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果（※）	結果の理由
１、豊かなこころの育成 言語環境の充実を通して、子供たちの言葉に対する興味関心を育て、正しい言葉遣いを身に付けさせるとともに、相手の気持ちや考えた言葉遣いをする。	B	元気よく挨拶をする子がふえているのはよいことだと思う。 たくさんの絵本や紙芝居などの教材を使ったり、その場に応じた言葉遣いをその都度指導したりしている。その結果、少しずつ言葉遣いも良くなっている。しかし、生活環境やテレビなどの影響ためか逆に悪い言葉遣いをする子供がいることも現実である。正しい言葉遣いを身に付けさせるには家庭との連携も引き続き必要である。 今後も職員全体でどのクラスの子供に対しても気がついたときに指導していくことが大切である。
２、安心・安全な幼稚園生活	B	今年も、園庭で園児を見守る保育者を増やしてき

日常の安全点検や水防計画や防災計画を作成するとともに、全職員の共通理解を深め、園児に対する防災教育の充実を図り、安心安全な幼稚園生活を送る。		た。日々の遊びの中で危険な様子を発見したときには注意をし、大きな事故にならないようにしている。子供はどんな行動をするのか予測できない場合がある。引き続き園庭で遊んでいるときには子供の様子をよく観察していきたい。 避難訓練の時などは事前・事後の指導を含め意図的な指導を行い、緊急放送時の子供たちに意識高まっている。しかし、実際何かあったとき、訓練のような行動が取れるか不安な部分もある。職員間でより一層の共通理解の徹底をしていきたい。
３、保護者との連携強化 保護者が相談しやすい雰囲気づくりにつとめ、保護者の相談に気軽に応じることができ、連携を深める。	B	連絡ノートやお迎えの時に子供の様子を伝え共有することができた。特に、バス送迎の子供の保護者と直接話す機会が少ない分、保育者の連絡事項や気づいたことを連絡ノートで伝えるよう努めたが、今後、個人面談の回数等も検討していく必要がある。 コドモンの有効活用を考えていきたい。
４、健康の増進を図る。 園の施設・設備を活用し、園児が自ら運動に親しみ、体力の向上が図れるようにする。また、規則正しい生活習慣を身に付けられるようにするとともに、健康の増進を図る。	A	新型コロナ感染症予防を中心に取り組んできた。そのため、室内より外での活動の時間が多く、自由遊びを通じて体をたくさん動かすことができた。特に園庭が人工芝になったことで力一杯体を動かすことができた。通年のプールもよかった。 今後も、運動が苦手な子供は友達や保育者と一緒に動くことで、多くの遊具に触れて遊び、たくさんの運動を経験させたい。 次年度以降も、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防に努め、園全体で健康に関する意識を高めていきたい。

5、指導方法の工夫改善 園児一人ひとりへの理解を深め、個に応じた指導の充実を図る。 また、生活環境や集団生活を工夫しながら主体的に活動しようとする園児の育成を目指す。	B	子供たち一人一人の個性を理解して指導することは難しいことであるが、よく観察し適切な援助ができている。しかし、特別な支援を要する園児が各クラス数名在籍し、今までの指導法の範疇に含まれない園児がいる。療育関係者と情報交換している例のあるので更なる研修を通し、個に応じた指導を行っていきたい。 本園の特長として、異年齢集団での関わりを増やしていくことも必要と考える。自由遊びだけでなく一緒に制作したり、行事に参加したり、運動したりするなど、しらかば幼稚園ならではの工夫も考えていきたい。

4　具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結　果	理　　由
B	本年度も保護者アンケートを実施し、立場の違う視点からの意見を参考にして学校評価に取り組んだ。園として効果の上がっていると思っていることとは、保護者も同様の意見が多かった。また、コロナ禍での１年だったため、多くの行事が縮小して実施された。 コロナの影響はもうしばらく続くと思われる。「学校の新しい生活様式」等を参考に、園児、保護者、教職員と、幼稚園に関わる全ての人が安心して生活できる愛される幼稚園を目指していきたい。

〇結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課　題	具体的な取り組み方法
「学校の新しい生活様式」に沿った幼稚園を目指す	・コロナ禍において、様々な行事や日々の生活スタイルを見直してきた。今後も影響があると思われる新型コロナ感染症と上手に向き合い、全ての人が安心して生活できる幼稚園づくりを進めていく必要がある。「学校の新しい生活様式」等を参考にしていきたい。行事の中身の精選。

学校評価シート（学校関係者評価）

大和田しらかば幼稚園　学校関係者評価委員会
日時　　令和４年３月１４日（月）
１１：００ ～ １２：００（時間）
出席者　評価委員（父母会役員）３人
会長１人　副会長２人

１．自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

・おおむね適正である。
・コドモンのアプリを導入、門の電子錠の導入、園庭の人工芝化など計画的に目標達成に向け取り組んでいる。
・新型コロナの影響で、制限がある中、工夫して取り組んでいる様子がよくわかる。

２．評価結果の内容は適切であったか

・おおむね適正である。
・保護者アンケートの結果をすぐに反映していただくなど、保護者にとってよりよい方向に進んでいるように思われる。コドモンアプリを有効活用することで保護者との連携もよりよくなるのではないかと思われる。

１豊かな心（A）　２安心安全（A）　３保護者との連携（B）　４健康の増進（A）
５指導方法の工夫改善（B）

３．今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

・おおむね適正である。
・今後もコロナとどう付き合っていくかが課題となるのではないか。手洗い、うがい、健康チェック、教室の清掃や消毒と継続していただきたい。
・防災訓練など保護者を巻き込んだ訓練も必要ではないか。

４．今後取り組むべき課題は適切に行われているか

・おおむね適正である。
・様座な子がいる中での保育は大変だと思われる。研修を通して保育の質をより高めていただきたい。

R3　保護者アンケート結果

大和田しらかば幼稚園

No.	質 問 項 目	評 価 の 分 布 状 況 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	評価ポイント（1～4点）	評価	昨年度
1	豊かな心の育成	A B C	3.46	A	3.58
2	安心、安全な幼稚園生活		3.69	A	3.62
3	保護者との連携強化		3.62	A	3.60
4	健康の増進		3.87	A	3.76
5	指導方法の工夫改善		3.59	A	3.69